

様式第 3 (第 6 条関係)

供給設備の技術上の基準

(容器による貯蔵能力が 1, 0 0 0 kg 以上 3, 0 0 0 kg 未満のものに限る。)

<p>1 保安距離</p>	<p>①第 1 種保安距離(法定 16.97m・障壁設置 0m) 実際距離 m 保安物件の名称</p> <p>②第 2 種保安距離(法定 11.31m・障壁設置 0m) 実際距離 m 保安物件の名称</p>
<p>2 障壁</p>	<p>①障壁の構造 材料 寸法(高さ) cm(厚さ) cm</p> <p>②扉の構造 材料 (厚さ) cm</p> <p>③扉の補強 等辺山形鋼(枠) mm× mm(内) mm× mm 間隔(縦) cm(横) cm</p>
<p>3 火気を取り扱う施設との距離</p>	<p>①火気の種類 火気との距離 m</p> <p>②火気距離が 5m 未満 障壁(材料) 高さ m</p>
<p>4 滞留防止</p>	<p>①貯蔵設備面積 m² 法定換気口面積 cm²</p> <p>②実際の換気口面積 cm²</p>
<p>5 柵、塀等の設置</p>	<p>柵、塀等の種類</p>
<p>6 警戒標</p>	<p>①掲示位置</p> <p>②表示内容</p>
<p>7 消火設備</p>	<p>①粉末消火器 (A-4、B-10 以上のもの 貯蔵能力 1,000kg につき 1 個以上)</p> <p>②その他</p>
<p>8 軽量の屋根等</p>	<p>①屋根の場合 その材料</p> <p>②遮蔽板の場合 その材料</p>
<p>9 転倒防止等の措置</p>	
<p>10 腐食防止措置</p>	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。